

公共ホール現代ダンス活性化事業

登録アーティスト 募集要項

公共ホール現代ダンス活性化事業を実施するため、公共ホールとともに事業を行うコンテンポラリーダンスのアーティストを募集します。

応募締切 2022年1月19日(水) ※当日消印有効

応募条件:以下の条件を満たす方

- コンテンポラリーダンスのアーティストとして活動し、自身の作品を発表した経験のある方
- ソロまたはデュオで活動ができる方
- 幅広い層を対象としたアウトリーチや公募ワークショップを行った実績がある方
- 公共ホール現代ダンス活性化事業のA・B・C全てのプログラムに対応できる方
- 有料公演可能なレパートリー作品を2作品以上お持ちの方

応募方法

下記のいずれかの方法でご応募ください。映像等の提出資料が必要になります。

1_応募フォームでの応募

右記URLまたはQRコードのリンク先ホームページ内の応募フォームに必要事項を入力の上、ご応募ください。また、提出資料をファイル送信用フォームで送信してください。

※Googleアカウントが必要になります。

2_メール又は郵送での応募

右記URLまたはQRコードのリンク先ホームページ内の応募用紙をダウンロードし、必要事項を入力の上、提出資料と合わせて、メール又は郵送でご応募ください。※送付先メールアドレス又は住所は、ページ下部をご覧ください。



https://www.jafra.or.jp/docs/8039.html

提出資料

- ①プロフィール写真

②映像資料

アウトリーチ又は公募型ワークショップ及び公演の内容の分かるものを15分程度にまとめたもの。公演の映像のみの場合も可。

③補足資料

過去に実施した、アウトリーチ又は公募型ワークショップ及び公演のうち、代表的なものの写真、チラシ、新聞等掲載記事など。

選考

- 選考会 2022年2月22日(火)
- 選考方法 書類及び映像審査
※応募者が審査会場に足を運んでいただく必要はありません。
- 選考に当たっての留意事項
応募条件のほか、次の点についても考慮して選考します。
 - ①公共ホールとともに、地域の実情を踏まえて事業を行う意思とアイデアがあること
 - ②幅広い層に対してアプローチできるプログラムが組めること
 - ③地域住民との交流や地域の表現者・地域のコーディネーターとの協働を積極的に行う意思とアイデアがあること

- 選考数 7名/組程度を予定
- 選考料 無料
- 審査委員(順不同・敬称略)
 - 小岩 秀太郎 (東京鹿踊代表/縦糸横糸合同会社代表)
 - 神前 沙織 (NPO法人JCDN チーフ・コーディネーター/ディレクター)
 - 坂田 雄平 (NPO法人いわてアートサポートセンター プロデューサー)
 - 中富 勝裕 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
 - 中西 麻友 (NPO法人芸術家と子どもたち 事務局長)
 - 宮久保 真紀 (Dance New Air チーフプロデューサー)
 - 栗林 礼也 (一般財団法人地域創造 ディレクター)

アーティストの登録

選考合格者に対しては、登録条件などについて合意いただいた後、2023・2024年度の当事業のアーティストとして登録します。登録アーティストを紹介する冊子(プロフィール集)を作成し、事業実施ホールなどの関係団体に配布する予定です。また、以下の事業にはご参加いただけますのでスケジュールの調整をお願いします。

- アーティスト研修会
2022年5月10日(火) 会場:一般財団法人地域創造 会議室
- アーティストプレゼンテーション
2023年度実施団体向け:2022年7月26日(火)
2024年度実施団体向け:2023年7月下旬~8月上旬(予定)
会場:東京都内

スケジュール

事業実施団体が、登録アーティストのスケジュールも参考にしてアーティストを希望します。既にスケジュールの調整が難しい場合は、事業実施団体からの派遣希望が難しくなり事業の実施に支障をきたすため、スケジュールについて柔軟な対応ができるようお願いします。

2023-2024年度

公共ホール現代ダンス活性化事業



登録アーティスト

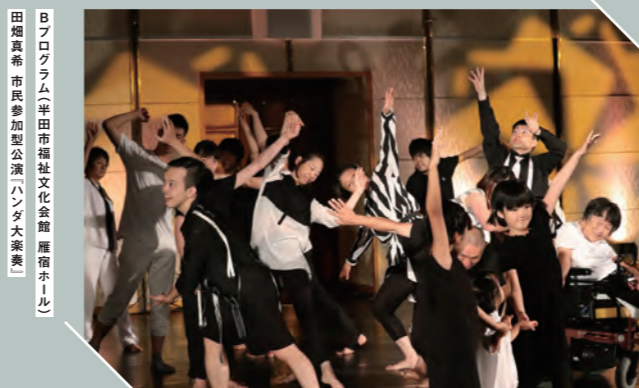
募集

地域の人々と協働し、ダンスを通じた創造性豊かな地域環境づくりに意欲のあるアーティストを募集しています。

CONTEMPORARY DANCE



Aプログラム(三次市民ホールきりり) 中村香 小学校でのアウトリーチ



Bプログラム(半田市福祉文化会館 雁宿ホール) 田畑真希 市民参加型公演「ハンタ大衆舞」



Cプログラム(ながす未来館) 大崎龍雄 田村行一 舞踏長洲風土記「EXTRAORDINARY」

公共ホール現代ダンス活性化事業（通称：ダン活）は、コンテンポラリーダンスをとおして地域の公共ホールを活性化することを目的に実施する事業です。ダンス・アーティストの持つ自己表現力、コミュニケーション能力等に地域住民が触れる機会を提供し、心豊かなコミュニティづくりを目指し、公共ホールの利活用・地域文化の活性化を支援します。

活動内容

ダン活には3つのプログラムがあり、公共ホールが今後のダンス事業を実施するビジョンに基づいてプログラムを選択します。

A プログラム (地域交流プログラム)	B プログラム (市民参加作品創作プログラム)	C プログラム (公演プログラム)
原則として、4日間で学校や福祉施設等でのアウトリーチと公募型ワークショップ(計4～6回)を実施	原則として、全9日間(3日間+6日間など)の日程で市民参加作品を創作し有料公演を実施	原則として、4日間で仕込み、リハーサル、レパトリー作品の有料公演を実施
アウトリーチ(3回以上) + 公募型ワークショップ(1回以上)	公募型ワークショップ(1回) + 公演(1回)	公募型ワークショップ(1回) + 公演(1回)

※各プログラムでは事前に現地見を実施します。

コンテンポラリーダンスによる公共ホールの利活用・地域の活性化 当事業の実施をとおした公共ホール職員の育成 継続したダンス事業の実施を目指した地域の表現者等との関係構築

地域交流プログラム	<p>「アウトリーチ」</p> <p>学校、福祉施設、病院、企業や団体などへ登録アーティストが出向きコンテンポラリーダンスを届けます。コンテンポラリーダンスを全く知らない、または関心がない層を対象として、からだを動かす楽しさ、自己表現力、創造力、コミュニケーション能力を引き出すワークショップを実施します。ホールの社会的・教育的な役割が発揮されると同時に、日ごろつながりのなかった地域の団体等とのネットワークの構築を通してホールの活動領域が拡大する契機となる活動です。</p>
公演	<p>「公募型ワークショップ」</p> <p>コンテンポラリーダンスに関心のある層を対象として自分の表現で創作することの楽しさ等を知ってもらうワークショップを実施します。コンテンポラリーダンスの魅力からだてで理解し、新しい感覚を発見する体験等を通して、地域の鑑賞者や表現者の育成につなげます。また、ファン層を開拓し、今後、地域でコンテンポラリーダンス事業を継続していく基盤づくりを行います。</p>
公演	<p>コンテンポラリーダンスという新しいジャンルを地域に紹介し、これまでホールとつながりのなかった新しい鑑賞者層の掘り起こしを行います。Bプログラムでは、地域の人々と一緒に作品をつくり上演します。Cプログラムでは、登録アーティストのレパトリー作品を上演します。アーティストとホール担当者が自由に柔軟な発想の公演を創り上げます。</p>

公演、ワークショップ等に係る出演料等(1地域の派遣につき)

(一財) 地域創造が出演料等及び当財団の旅費規程に基づき現地までの往復交通費・宿泊費・日当を負担します。

区 分	Aプログラム	Bプログラム	Cプログラム
登録アーティスト(ソロ)	100,000円	330,000円	150,000円
登録アーティスト(デュオ)	150,000円	440,000円	220,000円
アシスタント(ソロの場合1名まで)	50,000円	-	-
クリエーションのためのアシスタント(共演者)※1 (ソロは2名・デュオは1名まで)	-	1人 100,000円 (上限額)	-
共演者(ソロは2名・デュオは1名まで)	-	-	1人 70,000円
テクニカルスタッフ等(1名まで)※2	-	100,000円	100,000円

※所得税込
(2021年度実績より)

● 登録アーティストの出演料に含まれる経費

ワークショップの講師料、公演出演料、振付・演出料、アーティスト作品に関わる経費(衣裳費、舞台美術費、メイク費、小道具費、運搬費、照明・音響プラン料、制作費)、稽古場代、公演に使用する映像ソフト代、写真使用料、広報・宣伝及びブレ・アフタートーク等関連企画への協力、事前下見、経常経費、飲食費、地域創造負担を超えるアシスタント・共演者等に係る経費、市民参加公演の稽古として必要なクリエーションワークショップ等に係る経費

※1 クリエーションのためのアシスタント(共演者)の出演料等は、事業期間すべてに従事した場合に上限額をお支払いします。それ以外の場合は協議の上決定します。

※2 テクニカルスタッフ等とは、公演準備のサポート役として必要と判断されるテクニカルスタッフ、演出助手、制作者及びその他地域創造が認めた者で、事前の現地見及び実施時に派遣します。

※3 事業実施ホールは、上記以外の地元テクニカルスタッフ、広報宣伝費、会場使用料等を負担します。

ホールによっては、限られた制作費・設備機材などで公演を実施することがあるため、通常の本公演と同様の条件での公演実施が困難な場合も想定されます。

ダン活コーディネーター(予定) ※五十音順・敬称略

右記のコーディネーターが事業の企画から実施までアドバイザーとしてホールの担当者及びアーティストをサポートします。

小岩 秀太郎 (東京鹿踊代表/縦糸横糸合同会社代表)
 神前 沙織 (NPO法人JCDN チーフ・コーディネーター/ディレクター)
 坂田 雄平 (NPO法人いわてアートサポートセンター プロデューサー)
 中富 勝裕 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)
 中西 麻友 (NPO法人芸術家と子どもたち 事務局長)
 宮久保 真紀 (Dance New Air チーフプロデューサー)

選考から派遣までの流れ

